

未来を担う子どもたちに素敵な環境をプレゼント

(バイオフィーム株式会社)

<法人の概要>

所在地：長崎県西海市

設立：平成 22 年 7 月

資本金：300 万円 売上高：6,700 万円（令和 2 年）

構成員（議決権）：農業関係者（75%）、バイオパーク株式会社（25%）

役員：3 名（うち農作業従事 3 名）

経営面積：2.1ha

作付作物：野菜、果樹



いちごの森 外観



いちごの森 施設内

<営農を開始するまでの状況>

当社が立地する西海市では、担い手の高齢化等による耕作放棄地の増加といった問題を抱えており、将来を担う地域の子どものため、「郷土を誇りに思える環境づくり」「将来郷土で働ける環境づくり」をコンセプトに、ファーム事業の取組を始めることとなった。

当該取組では、テーマパークである「長崎バイオパーク」と連携し、地域を楽しむ観光客の誘客アイテムとして、また地元農業者の方々と生産協力やノウハウの共有など幅広く地域との共生を図っていきたいと考えている。

営農開始にあつては、経営基盤の安定化を図るため、耕作放棄地を 40a 借り受け 3a のハウスを建設、高設栽培イチゴ狩り観光農園「いちごの森」を平成 23 年 12 月に開業させた。また、当該観光農園に併設してロードサイドハンバーガーショップも営業しており、地元雇用の増大にも寄与している。

農地の確保に際しては、耕作放棄地が多いと言われる一方で実際に借受できる耕作放棄地は少なく、また情報も限られていたため、耕作放棄地の活用を図るとした国の方針とのギャップに困惑したところである。

＜特徴的な取組＞

【他の企業との連携】

株主企業である「長崎バイオパーク」との連携により、イチゴ狩り観光農園の集客、農作物の生産受託と販売、「ブルーベリー摘み」「芋ほり」「しいたけ収穫」「ミカン狩り」といった収穫体験の受入を行うとともに、イチゴを活用したソフトクリーム、スイーツ類の開発・販売、地元産農産物を利用したハンバーガーの販売等の事業も行っている。

＜今後の農業経営の展開方向＞

農産物加工所の新設により加工品のブランド化を図るとともに、こどもプロプロジェクト「農業体験学習教室」の開講や「長崎バイオパーク」園内レストランで使用する農産品の生産も進めていきたい。

経営規模の拡大を図りたいが、農地の確保（借地）が重点課題である。



ロードサイドハンバーガーショップ（イチゴを活用したソフトクリームやスイーツ類、地元農産物を利用したハンバーガーの販売）